

## 競技審判上の注意

- (1) 本大会は、令和4年度(公財)日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規程に基づき実施します。
- (2) 主審は、全て大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは原則として配置しません。
- (3) 選手は会場に到着したら、入口ホールに設置してある選手受付にて、会場に到着したことを報告してください。
- (4) 試合が放送により待機コールされましたら、観客席から待機席に集合してください。
- (5) コート入場後の試合前練習は、主審の指示により初戦のみ3分間行います。シングルスの場合は、対戦相手とダブルスはパートナーと行ってください。この際のシャトルは、主催者で用意いたします。
- (6) 試合が連続する場合は、原則として、試合終了後、次の試合開始までに10分は間隔をあけます。
- (7) バックバウンダリーライン後方にコーチ席1席を設けます。コーチ席に入ることができるのは、登録したコーチのみです。
- (8) 試合開始前および終了後の選手同士の握手や試合終了後の主審との握手は禁止します。但し、相手に誠意をはらって、会釈をすることを心掛けてください。
- (9) 各試合(マッチ)のインターバルは次のとおりです。
  - ①予選リーグは、ゲーム間のみ120秒を超えないインターバルを認めます。
  - ②決勝トーナメントは、各ゲームにおいて一方のサイドが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認めます。選手は20秒前にはコートに入ってください。
  - ③第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認めます。選手は20秒前にはコートに入ってください。
- (10) インターバル中でのアドバイスは、コートに入ってもよいですが、主審が「20秒」とコールしたら、すみやかにコートから離れ、選手はコートに入ってください。
- (11) 試合(マッチ)中の水分補給、汗拭き、ラケットの交換、靴ひもの締め直し等、プレーを中断する場合は、必ず主審の許可を得てください。) コートサイドにはかごを用意しません。各自ラケットバックに、飲み物などを含む必要な持ち物を収容しコート脇に持ち込んでください。水分補給用の容器は、倒れても中身がこぼれないものを使用してください。氷嚢の使用は、インターバル中のみ認めます。
- (12) 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認めません。
- (13) シャトルは原則としてゴーセンエメラルドを使用します。シャトルの交換については主審が決定しますので、指示に従ってください。
- (14) 試合中のけがや病気に対しては、主審が判断します。主審が必要に応じて競技役員長(レフェリー)を呼んだ時は、競技役員長(レフェリー)の判断に従ってください。
- (15) 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。ここで質問のできる者とは、当該選手及びコーチに限ります。試合(マッチ)中、インプレーでない時のアドバイ

スはコーチ席に座って行き、試合(マッチ)中はコートそばに立ってはいけません。また、コーチが他のコートに移動したいときは、必ずインプレーでないときに行ってください。

- (16) 競技フロア内での携帯電話等の使用は、一切認めません。携帯電話等は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- (17) 試合中にモバイル機器 ( i P a d ・携帯電話等) を使用したアドバイス・コーチングは禁止します。
- (18) 試合中の服装は、白または(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、試合時必ず上着の背面中央に県名氏名を明記してください。
- (19) コーチの服装は公認審判員規程第3条第5項第6号を厳守し、体育館シューズで入場してください。
- (20) その他は、代表者会議は行いません。競技等についての質問事項は前々日までに、大会事務局にメールで問い合わせください。選手の棄権については、各県の小学生バドミントン連盟を通して、事務局に報告ください。

石川県ジュニアバドミントン連盟 競技部 鍛冶 寛之 携帯電話 090-2835-8023 アドレス 2022ishikawa@gmail.com
--

## 一般上の注意事項

- (1) 開場は、両日は午前8時半です、入場学年順でご入場下さい。
- (2) 競技会場では、競技役員(係員)の指示や会場の指示に従い、「外履き」と「内履き」の区別をして、観覧席で履き替えてください。
- (3) 団(クラブ)旗・応援旗等を禁止とします。
- (4) 観客席からの大声の助言・指導およびフラッシュ・ストロボを用いての写真撮影等、競技に支障をきたす行為は禁止します。また、競技会場内の電源(コンセント)の使用は禁止します。
- (5) 競技会場の外から持ち込んだゴミには、各自が責任を持って持ち帰ってください。
- (6) 競技中の疾病・傷害については、応急処置のみ主催者側で行いますが、その後は各自で処置を行ってください。なお、本大会では、傷害保険等には、入っていません。
- (7) 防犯上、貴重品をはじめ私物の管理は、各自で責任を持って行ってください。
- (8) 競技会場2階の観覧席から応援する場合、フロアへの落下防止のため、最前列は着席して応援してください。
- (9) 競技会場内の通路等での「素振り」「シャトル打ち」は大変危険ですので、行わないようにしてください。

## 感染症対策に関する注意事項

本大会は、日本バドミントン協会が令和3年2月20日に発出した「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」（第3章バドミントン競技大会・イベント実施にあたって）に基づき競技大会を実施します。参加チームの代表・監督・コーチ・父母は、ガイドライン第3章を熟読し競技大会に臨んでください。なお、特に注意する点として、以下の通り列記しました。

- (1) 当日朝の体温が、選手・大人は37.5℃以上で、体調に異変を感じたときには、参加を中止する。
- (2) 各チームは、受付時に、別紙「大会・講習会 参加関係者 健康状態確認シート」に選手・コーチ・参加保護者等の氏名や健康状態等を記載し、受付に提出する。  
受付時には、検温器による体温測定も行いますのでご協力ください。
- (3) 新型コロナ感染症予防対策の観点から入場者の数の制限を行います。  
各県ごとの入場者の制限を**参加選手一人につき二人の保護者等**の入場を可としますのでご協力をお願いいたします。  
一定時刻での換気も求められておりますので、指示によりご協力をお願いいたします。
- (4) 開始式は、種目毎に行います。選手は観客席に着席したまま参加します。
- (5) 閉会式は行いません。3位以上の入賞者は、競技終了後、表彰式を行いますので、指定の場所にお集まりください。
- (6) 選手は、フロアへの入退場時には、指定された通路を通り、フロア置いてあるアルコール液により、手指の消毒を行うこと。
- (7) 観戦は、各県毎に指定された観客席で行います。他の県の観客席には立ち入らないでください
- (8) 待機時や観戦時はマスク等を着用すること。
- (9) すべてのごみは持ち帰り、自宅で処分すること。
- (10) 試合結果の速報は、石川県バドミントン協会(<http://badminton.gr.jp/>)ホームページにアップします。
- (11) コーチングは、一定の距離を保った上で行うこと。
- (12) プレーヤー又はコーチとの握手やハイタッチは行わない。
- (13) 試合中、意識的に大声を出さない。